

發行所
平市紺屋町36
經濟時事社
主幹 田原登
電話 4,775
毎週 土曜日發行
定価3ヵ月 百円
一部 五円

市長公室を新設

市会
終る
これから
人事刷新

平市九月定例市議會は廿八日から十月一日まで開き追加予算百九十四万円、特別会
 計水道費追加百九十七万円、同國保事業費追加二百三十一万円、同競輪事業費追加
 百二十六万円、同児童遊園地事業追加五万円、同新川北第一土地区画費追加四十九
 万円、機構改革による条例改正など多少の修正はあったが殆んど原案通り可決開会
 した。

水産課と修正し、土木課内に

あつた都市計画係を課に独立
会計課を管財課に改めたぐら
いで、これに伴う人事の刷新
はこの条例の実施する十二月
二十日ごろまでに断行する予
定となつた。

ブルトーザー購入

道路、荒地の整地に活躍

支所を出張所に

また各支所を出張所に名称を改めた。赤井出張所を新設、飯野、神谷の支所を廃止しようと提案したが、地元の反対もあり議会でも時期尚早と認めて出張所として存置することになった。

主な事業

支出事業費の主なものの左の通り	関係助成九万円、夏期対策交付金百一十二万円▽大浜地内林道新設二十五万円、下大越地内水路事業十六万円、泉崎地内排水費三十九万円、下大越地内ため地改良七万円、沼ノ内防護柵十四万円▽フルトザイ購入五百五十三万円、これは県下市町村で最初の購入で平
△平土末事務所移転敷地買収七十五万円	
▽県土木関係負担金五千円、総合開発負担金一万円▽県下高校PTA負担金十五万円、県下婦	
△メーデ	

鈴木勇治郎（西部 第二分団）
 辺多重（吉野 第十一分団）
 長北村晴之輔（中部 第三分団）
 木田久次郎（赤井）

教順氏に坊さん五
 喜捨を集めている。

小名浜臨港を国鉄移管

石炭不況対策に運動開始

訪れ、小名浜臨港鐵道を国鉄に移管するよう協力がを準、
 入れた。このほか、
 策をたて、関係方面

東部石炭協会越田和文雄氏ら
 二氏は一日総合開発事務局を

平消防団の任命式

統合した平清防団役員の任命式は一日市公会堂で開き主要幹部を左の通り決め、岡田団長から辞令を交付した。

▽副団長 岡田政次郎▽副団長 藤倉武雄 塩饒助、片倉周平▽分団長 山崎孝平（本部分）▽坂野幸市（同）第一分団長 鈴木勇治郎（西部）第二分団長 北村村晴之輔（中部）第三分団長渡辺雪（東部）第四分団長松本都広（平建）第五分団長永山滿（飯野）第六分団長松崎幸太郎（神谷）第七分団長鈴木美（豊間）第八分団長矢吹清員（高久）第九分団長鶴沼富（夏井）第十分団長辺多重（草野）第十一分団長木田久次郎（赤井）

平市演習場で開く。参加者は体、個人戦で、参加希望者は十日まで平市ネギ町七替城剣道連盟事務所まで申込むこと

大野で慰霊祭

四倉町大野地区の戦没者慰霊祭は来る十三日九時半から桑寺寺で行なふ。このため三吉教順氏ら坊さん五人は経費の喜捨を集めている。

小名浜臨港を国鉄移管

石炭不況対策に運動開始

は経費の

文化講演会

とき 十月十一日(日)九時半
ところ 平市公会堂 日本間

講師 東大教授 神谷慶治先生

力行会報徳社文化部長平谷瀧治先生で入場無料で一般の入場を歓迎している。神谷教授は農業経済学を専攻、東畑精一博士のあとがまになった斯道の権威者であることはよく人の知るところ、著書には一米畑をめぐる諸問題とか「農村社会の変転」など多数ある。神谷先生はまた服装なども無頓着な学究で一般に親しまれている。

美術研究大会

ので、その使用規程も制定、
▽街路灯助成二十八万円、ア
ワビ養殖助成七万円▽豊間漁
港修築百四十一万円▽下荒川
地内住宅敷地買収五十万円敷
地造成補償二十一万円。

スタンダー
銀

平市一丁目裏通り

記念品と御引物

小松漆器店

平市本町一丁目
電 三二九二

勉強の店

荒
物
雜
貨

さ
か
い
や
本
店

平市七丁目 電二四六五

贈つても 贈られても

皆様に喜ばれております

銘
菓

桃の井

壺
最
中

大島
本練羊羹

製造発売元
金沢屋

平市一丁目角 電二三三二七

平市内変貌の跡
(四)

面目一新の紺屋町方面の巻

すずち小路に移り、スズキとあるのは鈴木米科のことだが今は榎田に転じ。矢吹医院は古銀治所に移る。ササキとあるは角書書店で現在三丁目に在り、仙台やは長橋の角で幹物屋を営む。このほか白萩酒店は古のれんを誇り、他を庄する様に丸玉酒造工場山光堂造花社とがあるが全体として町内はあまり賑かな方ではない。

牧草の原色乾燥

飼料界から注目さる

馬などに給与しているが、この原色牧草値はその四分の一の安い値段で出荷出来るからその価値が一般にもはつきり認識されれば需要が激増するものと見て工場の増設計画も

牛乳の配給不能

県が輸送費負担で解決

平市では小中学校、
 八千五百九十一人を
 対象に完全給食を实
 施して来たが、給食
 用牛乳は県と岡田牛
 乳（社長岡田健治氏）が契約
 を結び十月から十二月まで四
 百五十石を小野町から運び配
 給することになっていたが、
 三日月では郡山市から運んで
 欲しいと岡田牛乳に申入れて
 来たため、岡田では運搬費が
 高くなるので供給は出来ない
 と突っぱねたため、牛乳の配
 給は出来ないことになった。
 このため県ではコナミルクを
 配給する計画をたてている模
 様だが、岡田牛乳はなぜ拒否
 したかについては、小野町か
 らの運賃は、一合三十銭だが、
 郡山は五十銭と高くなるので
 採算がとれないと拒否したも
 の、しかし市教委では何とか
 解決策を発見したいと奔走中
 である。
 五日に至り県が輸送費を負担中
 することになり解決した。

やく二千人参加

盛会だ

八
莖
銅
山

に診療所
十日から松
尾病院で

▽新しい農薬の使い方、講師 寺田宏二氏（三共㈱）

有利な蔬菜栽培技術講師大野誠司（武蔵野園芸生産部長）

藥

の御相談は……

平市四丁目

關內藥局

電 3175・3176

荒物・雜貨・日用品

砂糖粉、紙製品、各種石鹼、紙袋
包裝紙、純石城產障子紙、障子紙各種
ゴザ類、ヨシズ類、裝飾提灯、各種提灯
電球、各國產砥石、ロープ類、ホー牛類

正白土正藏商店

平市古鍛冶町
電話五〇四一番

株式會社
常磐ヤニマ
製作所

平市一丁目 電四三二六・四三二七

医藥品卸

神谷薬品株式会社

平市田町一三
電話四三三一・四三三二

味覚の秋

▽通人の好む蒲焼はいまからの下りうなぎ△

松たけ 松めし
ほろく かしわ 土瓶 草
むしき

壽司の江戸

平市才槌小路店 電話三〇二一
平市紅小路店 電話二七二七

訴訟提起に二理由

原告の駒忠氏
と一問一答

平市三丁目 電代表三一〇七
工場 電四四一六

伊賀氏と国魂氏と

平市紺屋町 電五三〇〇